

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

JR東日本で働くすべての労働者の皆さんへ！

職場討議資料

JR連合「あるべき労働組合像・労使関係像」

JR連合は2月の中央委員会の民主化方針で、「あるべき労組像・労使関係像」の職場討議資料を提起し、今後、民主化機材として積極活用していくこととしました。この間、JR連合が取り組んできた被害者救済運動の成果により、JR総連運動の異常性が内外に明らかになりつつあります。JR東日本で働くすべての労働者の皆さん、ぜひこの職場討議資料を読んで、労働組合や労使関係のあるべき姿と一緒に考えましょう。JR東日本ユニオンは、このアイデンティティを目指しています。

わが国における労働組合の存在意義

労働組合が果たすべき役割

私たちが求める労使関係

あるべき労働組合・労使関係をJRに築くために

第4回 わが国における労働組合の存在意義 その3

(3) 労働組合の役割を發揮するためには、それにふさわしい能力や評価が必要である

労働組合が暮らしをよくするために、職場、企業経営、社会に対して役割を發揮するためには、労働組合の「政策能力」「組織力」を高めるとともに、社会に評価される存在、「あってよかった」と思われる組織となる必要がある

- ・ 職場や働く者の代表として、意見や実態が正しく把握できる情報を集約する力や、それを分析する能力を持つこと
- ・ 企業経営が欲しい情報を提供したり、企業の気付かない提言を行ったり、働く者の立場や社会の視点から企業の経営を厳しくチェックするなど、企業経営にとって頼りになる組織であること
- ・ いざという時には、組合員や社会からの求心力を背景に、企業に要求を厳しく迫ることのできる存在感のある組織であること

(4) イデオロギーに偏らない民主的で透明な組織運営でなければならない

組合員が主権を持ち、あらゆる主張をまず認め合い、自由に議論でき、透明性が高く、民主的な手続きによって運営される組織でなければならない

- ・ 個人を尊重し、性別、職種、年代など、すべての立場の組合員を代弁する組織でなければならない
- ・ 組合員のお互いの信頼を強め、弱い者、困った者を守り、助け合うための組織でなければならない
- ・ あらゆる暴力、人権の蹂躪、個人の尊厳を傷つけたり否定したり行為を行ってはならないし、そうした行為を絶対に許してはならない

労働組合の役員は、組合員から信頼される存在でなければならない

- ・ 組合員のため、働く者全体のため、社会のために、良識と優しさを持って、公平、公正に働くことが求められる